

## 第7章 歴史的風致形成建造物の指定の方針

### 7-1.歴史的風致形成建造物の指定に関する基本的な考え方

本市では、これまで文化財保護法や愛知県及び岡崎市の文化財保護条例に基づく文化財への指定又は登録に加え、景観法に基づく「景観重要建造物」や、重点区域内の歴史的価値等が明確になった建造物の、歴史まちづくり法に基づく「歴史的風致形成建造物」への指定により、歴史的な建造物の保全や活用を行ってきた。

第1期計画では、歴史的風致形成建造物を11件指定し、歴史的建造物の保護を図った。今後も、道路等の公共の場から容易に望見できる建造物のうち、所有者及び管理者と協議の上、同意が得られたものを前提として、歴史的風致の維持向上のために、その保護を図る必要があると認められるものを対象に、以下に示す「指定の基準」及び「指定対象の要件」を満たす建造物を指定する。なお、歴史的風致形成建造物の指定期間は、認定計画の計画期間内に限る。

### 7-2.歴史的風致形成建造物の指定の基準

重点区域内における国指定の文化財を除く歴史的建造物で、次のいずれかに該当する建造物を指定する。

- ①意匠性、技術性が優れているもの
- ②地域の固有性、歴史性、希少性の観点から価値の高いもの
- ③外観が景観上の特徴を有し、まちなみ景観の構成要素として重要なもの

ただし、以下の条件を満たすものとする。

- ・築50年経過しているもの
- ・所有者又は管理者等により、今後当該建造物の適切な維持管理が見込まれ、かつ歴史的風致の維持向上に資するための一般公開等の諸活動が継続的に行われる見込みがあること

## 7-3.歴史的風致形成建造物の指定対象の要件

次のいずれかに該当する建造物を対象とする。

- ①愛知県文化財保護条例に基づく県指定文化財
- ②岡崎市文化財保護条例に基づく市指定文化財
- ③文化財保護法に基づく国登録有形文化財
- ④愛知県文化財保護条例に基づく県登録有形文化財
- ⑤景観法に基づく景観重要建造物
- ⑥岡崎市水と緑・歴史と文化のまちづくり条例に基づくふるさと景観資産(建造物)
- ⑦その他歴史的風致の維持向上に寄与するものとして特に必要と市長が認める建造物

## 7-4.歴史的風致形成建造物及び候補建造物の一覧

歴史的風致形成建造物及び候補建造物は、次のとおりである。

- 「指定区分」の凡例
- ①県指定文化財      ②市指定文化財
  - ③国登録有形文化財      ④県登録有形文化財
  - ⑤景観重要建造物      ⑥ふるさと景観資産
  - ⑦その他

表7-4-2 歴史的風致形成建造物及び候補建造物の一覧

※第1期計画で指定していた建造物は、表中の「名称」に波下線を表示している。  
 第1期計画終了時に指定は一度解除されるため、第2期計画認定後、必要に応じて、再度、指定が必要となる。  
 ※指定した建造物は、表中の「指定年月日」に指定日を表示している。「指定年月日」が空欄は未指定

No.	名称	写真	所在地	建築年	指定区分	関連する歴史的風致
	指定年月日		所有者(管理者)			
1	<u>十王堂</u>		藤川町	江戸時代	⑤	東海道を舞台にした信仰・祭礼等にみる歴史的風致
	R8.4.1		民間			
2	<u>旧石原家住宅(主屋・土蔵)</u>		六供町	主屋・土蔵:安政6年(1859)	③⑤	家康公生誕の地にみる歴史的風致
	R8.4.1		民間			

表7-4-2 歴史的風致形成建造物及び候補建造物の一覧

※第1期計画で指定していた建造物は、表中の「名称」に波下線を表示している。

第1期計画終了時に指定は一度解除されるため、第2期計画認定後、必要に応じて、再度、指定が必要となる。

※指定した建造物は、表中の「指定年月日」に指定日を表示している。「指定年月日」が空欄は未指定

No.	名称	写真	所在地	建築年	指定区分	関連する歴史的風致
	指定年月日		所有者(管理者)			
3	<u>甲山寺(本堂)</u>		六供町	元禄 15 年(1702) ~ 同 16 年(1703)再建	②	東海道を舞台にした信仰・祭礼等にみる歴史的風致
	R8.4.1		甲山寺			
4	<u>日吉山王社(本殿)</u>		滝町	慶長 13 年(1608)(推定) 正保 2 年(1645) 修築(推定)	②	瀧山寺鬼祭りにみる歴史的風致
	R8.4.1		滝山東照宮			
5	<u>旧本宿村役場</u>		本宿町	昭和3年(1928)	⑦	東海道を舞台にした信仰・祭礼等にみる歴史的風致
	R8.4.1		岡崎市			
6	<u>富田家住宅(主屋、土蔵)</u>		本宿町	主屋:文政 10 年(1827) 土蔵:明治9年(1876)(推定)	③	東海道を舞台にした信仰・祭礼等にみる歴史的風致
	R8.4.1		民間			
7	<u>旧野村家住宅(米屋)</u>		藤川町	江戸時代	⑤	東海道を舞台にした信仰・祭礼等にみる歴史的風致
	R8.4.1		民間			
8	<u>市場町郷蔵</u>		市場町	江戸時代	⑦	東海道を舞台にした信仰・祭礼等にみる歴史的風致
	R8.4.1		民間			

表7-4-2 歴史的風致形成建造物及び候補建造物の一覧

※第1期計画で指定していた建造物は、表中の「名称」に波下線を表示している。

第1期計画終了時に指定は一度解除されるため、第2期計画認定後、必要に応じて、再度、指定が必要となる。

※指定した建造物は、表中の「指定年月日」に指定日を表示している。「指定年月日」が空欄は未指定

No.	名称	写真	所在地	建築年	指定区分	関連する歴史的風致
	指定年月日		所有者(管理者)			
9	<u>松平広忠公御廟所</u>		松本町	慶長10年(1605)	②	家康公生誕の地にみる歴史的風致
	R8.4.1		松應寺			
10	<u>大樹寺伽藍(三門、総門、裏二門、鐘楼、大方丈、本堂)</u>		鴨田町	総門、裏二門：寛永15年(1638) 三門、鐘楼：寛永18年(1641) 大方丈・本堂：安政4年(1857)再建	①②	家康公生誕の地にみる歴史的風致
	R8.4.1		大樹寺			
11	<u>旧額田郡物産陳列所看守人室</u>		朝日町	大正2年(1913)	⑦	家康公生誕の地にみる歴史的風致
	R8.4.1		岡崎市			
12	<u>随念寺(本堂、書院、庫裡、山門(鐘楼門))</u>		門前町	本堂、山門(鐘楼門)：元和5年(1619) 書院：天明元年(1781) 庫裡：安永年間(1772~1781)	⑦	家康公生誕の地にみる歴史的風致
			随念寺			
13	<u>満性寺(本堂、太子堂)</u>		菅生町	本堂：元和5年(1619)再建 太子堂：慶安3年(1650)再建	⑦	家康公生誕の地にみる歴史的風致
			満性寺			

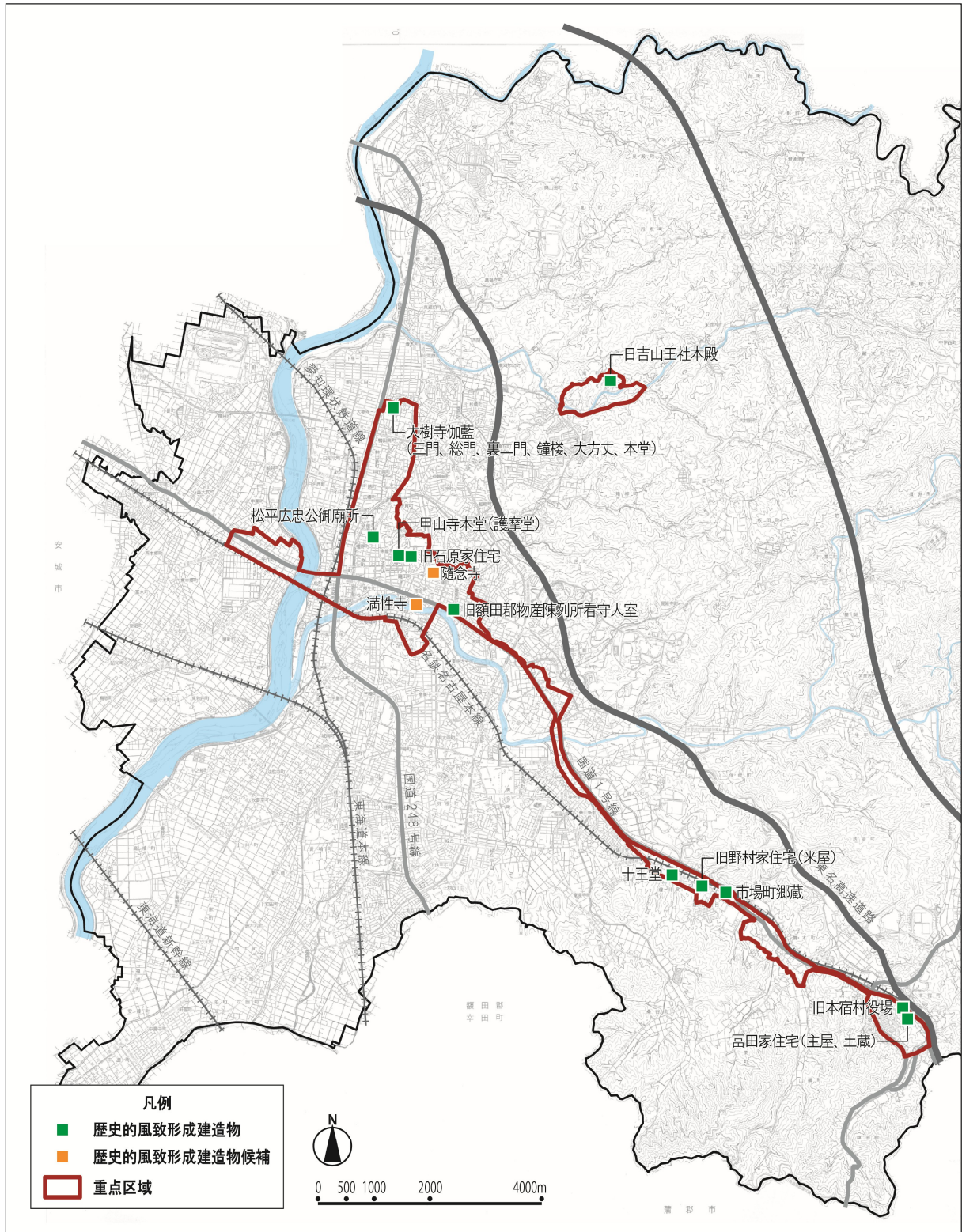


図7-4-1 歴史的風致形成建造物及び候補建造物の位置

